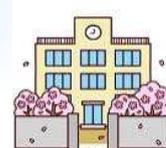




青 於

2月号



一日入学 (2/6)

新1年生は、図書室での呼名のあと、2年生との交流学习で、教室で飼っているウサギとふれあったり、「なべなべそこぬけ」のゲームをしたりして遊びました。また、1・2・3年生が心を込めて作ったおみやげをもらいました。その後、自分の好きな絵を描いて過ごしました。描いた絵のうち1枚を預かり、入学式の時に展示します。



むかしあそびをしよう (2/8)

1・2年生が、さいこうクラブの方や地域の方に、「むかしあそび」(お手玉、竹

とんぼ、はねつき、おはじき、こま、けん玉、あやとり など)を教えてもらいました。1年生が初めて司会や進行を行いました。とても上手にできました。

交通安全教室 (2/14)

業間に来年度の登校班編制を行い、班長・副班長を決めました。その後、交通安全教育指導員さんから、横断歩道の渡り方などの話を聞き、新しく編制された登校班で、実際の道路を使って初めての歩行訓練を行いました。



大内中出前説明会 (2/14)

大内西小出身の中学生7人が出前説明会に来てくれました。最初に、一年間の行

事や授業、部活動などについて、パワーポイントを使って説明してくれました。次に、「学校生活の一日の流れ」の寸劇をしたり、「中学校生活〇×クイズ」を出題してくれたので、子どもたちは楽しく中学校について理解できたようです。最後に、児童からの質問にも分かりやすく答えてくれました。

朝会の話(2/4)「鍵山秀三郎」

鍵山さんが29才のとき(1962年)に、イエローハットという会社を作りました。その当時の日本は、「高度経済成長期」で、ものすごい人手不足でした。だから、イエローハットのような小さい会社には、新卒の人は入社してくれず、入社するのは、転職を繰り返すことで、辛い経験をした人たちばかりでした。「この人たちの荒れた心を、どうやって穏やかにすればよいか」を考えた結果、働く環境をきれいにするのが一番良い方法だと思い、店を徹底的にきれいにしました。その頃のカー用品の店は、「汚い」が当たり前で、店をきれいにするのは誰も考えませんでした。逆に、社員からは、店をキレイにすることへの反発を受けましたが、鍵山さんは「掃除をする」という方針を変えないで、毎日一人で掃除を続けました。会社ができて10年ぐらい経った頃、ある変化が起きました。社員が自主的に掃除をしたり、車を洗ったりするようになったのです。さらに10年経った頃には、ほとんどの社員が朝早くから車を洗って、会社と近くの道路を掃除するようになりました。そして、さらに10年後には、他の会社から「掃除のやり方を教えて欲しい」と訪ねてくるようになり、マスコミが取材に来るようになりました。そのことがお客への信頼につながり、「あの会社は社員の態度や言葉遣いが良く、しかも誠実だ」と評価されるようになり、会社が成功しました。鍵山さんは、掃除のような平凡なことでも、徹底的にやるのがとても大切であることを知りました。

凡事徹底(ほんじてってい)

当たり前のことを当たり前実践するだけでなく、さらに一步踏み込んで他人には真似できないほど徹底的に実践することが、やがて大きな力になる。



青於発表会(2/20)

1・2年生は、授業や生活科で学習したこと、3年生から6年生までは、総合的な学習の時間で学習したことを発表しました。本校では、総合的な学習の時間を「青於」と呼んでいるので、「青於発表会」という名前をつけています。たくさんの皆さまに、ご参観いただきありがとうございました。

1年「できるようになったよ！さいこうの一日」、2年「町のすてきをみつけ隊！！」

3年「真岡市のみ力を発信しよう！」、4年「わたしの幸せ、みんなの幸せ」

5年「地球を守る 初めの一步」、6年「これまでの大内西部 これからの大内西部」